

令和3年 11月 12日

令和3年度

第五回 技術英語研修（スピーキング）

報告書

【主催】自然科学研究機構 分子科学研究所(大学連携研究設備ネットワーク)

【開催日】令和3年 10月 27日(水)・28日(木)・29日(金)

① 27日 9:30～10:30

② 27日 11:00～12:00

③ 28日 9:30～10:30

④ 28日 11:00～12:00

⑤ 29日 9:30～10:30

⑥ 29日 11:00～12:00

(各回のプログラムは同じ)

【開催場所】オンライン (Zoom)

【講師】ふた葉プロジェクト (サイエンスコミュニケーター&ライター) 梅村綾子氏

【受講者】大学の技術職員、技術支援員、特任専門員等 各回2～3名 のべ17名

【プログラム】

・ミニ講座 (15分) ロールプレイで使えるフレーズ

・ロールプレイ (40分)

1人が技術職員役、残りが留学生役となり、英語でのやり取りを体験します。技術職員役は、実際に業務で使用している資料(例:担当装置の日本語取説)を使って、その一部の内容を相手に英語で伝える練習をします。留学生役は、説明に対して質問をしたり、ロールプレイ終了後に技術職員役の言ったことをまとめて英語で説明します(summary)。

・まとめ (5分)

【報告】

今年度の最終回ということで、第二回、第四回で好評であった、1時間の短時間研修を再度実施した。これまでの研修は、募集後に比較的早く定員に達したが、10月ということで、後期の授業や学生の卒論・修論が始まったこともあり、参加者が思ったように集まらなかった。来年以降の研修があれば、10月以降の研修開催については、日程を検討する必要があるといえる。

研修の内容については、第二回・第四回と同様に、業務内容が近い参加者をまとめ、短時間でも相互理解が得られる状況を準備した。また、新しい参加者2名については、リピーターの参加者と一緒のグループに振り分けて、フォローできるように配慮した。英語でのプレゼンテーション内容も、実際の業務に関連するものを題材とし、関連する専門用語をあらかじめ参加者内で共有するなど、限られた時間の中で英語のコミュニケーションに集中できるように、参加者にも事前準備を行ってもらった。

・研修当日について

最初に短い自己紹介と本日の目標を共有し、続いてウォーミングアップとして短い英作文を作成するプログラムを行なった。5W1H から1語と参加者の業務と関連する単語から1語を講師が選び、参加者が即興で疑問文づくりを行なった。

メインプログラムのロールプレイングでは、説明する技術職員役と、質問する留学生役に分かれ、一人ずつ自分の業務から留学生へ、事前に準備した資料を使って説明を行ない、質疑応答を行った。7分程度のロールプレイングの後、留学生役の参加者に技術職員が説明したかったことを1分程度にまとめて発表してもらい、自分の理解したことを発表する練習を行った。参加者からは、自分が説明した内容について相手に伝わっているかどうか分かること、留学生役の参加者のまとめが参考になった、など非常に好評な意見が多かった。

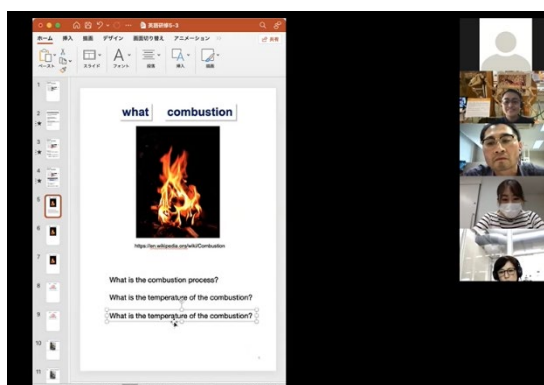


図1 ミニ講座の様子

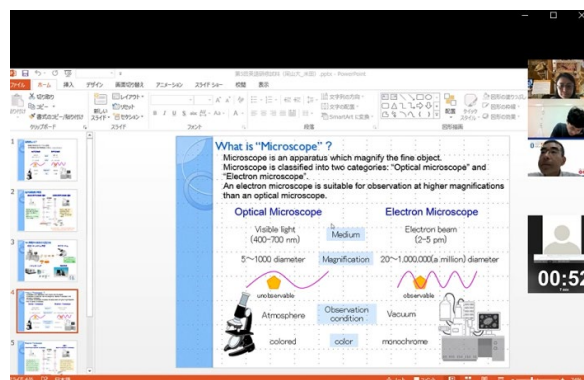


図2 ロールプレイングの様子

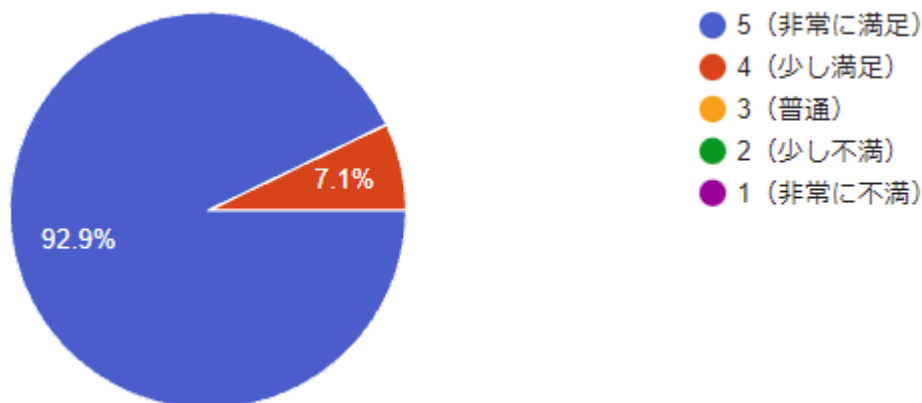
・まとめ

三回目となる短時間研修で、我々も講師も、研修の進行になれてきたこともあり、かなりスムーズに研修を進行することができた。今回の研修もアンケート結果からわかるように、非常に高い満足度が得られた。また、リピーターの参加者は、段々と英語でのコミュニケーションが上達しているという講師からの感想もあり、研修の効果が現れているといえる。

毎回研修後に行う振り返り会でも、短時間研修が参加しやすいという意見や、また定期的に参加したいという要望があり、今後開催していく上で一つの形ができたと考える。

【アンケート結果】 回答者 14 名（今回初めての参加 2 名）

研修の満足度



研修の良かった点をご記入ください

- ・事前に参加者の方々が使用する専門用語の一覧を頂けたので馴染みない内容でも理解しやすかったです。
- ・英語による実践的なコミュニケーションの機会を与えてくれる貴重な研修と感じました。また先生の御指摘は勉強になりました。
- ・当日は担当装置のメンテナンスもあり少しあわただしい日だったのですが、1時間という短い時間設定のおかげで無事に研修に参加することができました。突然の装置トラブル等で離席することが多い技術職員ですが、今回のような短時間研修はとても参加しやすい良い研修だと感じました。
- ・参加者とのロールプレイングで会話をやり取りできたこと
- ・実践的に話す機会がたくさんあって良かった。先生からのコメントも勉強になりました。
- ・他の人がサマリーで使った語彙や表現がわかりやすく役に立ちました
- ・実践に近い内容でできたこと
- ・少人数で密にコミュニケーションを図ることができた。
- ・1時間という短い時間のため、しっかりと集中して研修を受講することができた。また、参加者が同じような装置を使用しているという背景があり、説明の内容が理解できるので、英語により注力できてとても良かった。
- ・ロールプレイ前のプレセッションが良かったです。
- ・アイスブレイクで同音異義語のイラストを提示し、そこで、英文を即興で作成して口頭で表現し合ったこと。集中して考えるので、英語をどのように口頭で表現するのかのよいトレーニングとなったと思います。
- ・皆さんと情報共有できました。先生のコメントも有意義です。

- ・ 沢山話せたことです。
- ・ 研修開催の頻度が最適です。当日は、毎回皆さんで助け合いながら会話をするのができた点が大変良いと感じています。

研修の改善点と要望をご記入ください

- ・ 時間が短く感じました。
 - ・ 内容については特にありませんが、事前の説明では研修内容の詳細を理解するのが難しいように感じました。初参加の方は若干苦勞するかもしれません。
- 特にありません。今後も継続して研修を開催されることを期待しております。
- ・ 2人グループの回でしたので相手の様子を見ながら説明することができました。実際に説明が必要な場面を想定すると、英語や装置のレベルに違いのある複数人の前で説明する練習が有効だと感じました。
 - ・ オンライン研修に慣れていない人に対して、先生のコメントに反応しよう、いつでも発言してください、などと声掛けがあればよかったのかなと思いました。
 - ・ 今後も研修を続けてほしい！
 - ・ 特に改善点は思いつかないのですが、あえて言うならば、もう少したくさんの方とお話しできたら良いな、と思います。ブレイクアウトルームに分かれて話し、時間ごとに相手が変わるといった感じで進める、などはいかがでしょうか。
 - ・ 1時間 15分~30分くらいで、同様の内容の研修でもよいと感じました。
 - ・ 予め話題についての情報があるほうが、英語に集中できるような気がします。
- 日本語も追いつけない内容だと大変かも、、、
- ・ 要望としては、ジャンル別の英語を学ぶ機会があるといいなと思います。例えば、一般的に広報として提示するような技術職員の業務内容についての英語です。
 - ・ 何度も回数を重ねられると嬉しいです。
 - ・ 繰り返し、参加させていただけることに感謝です。

今回の研修は業務にどのように役立ちそうですか？

- ・ 英語を聞く・話すことに慣れることで留学生の方への対応への心理的なハードルが下がると感じました。
- ・ どのような説明だと通じやすいかの感触をつかむことができました。
- ・ 今回の研修では普段自分が説明を省いてしまっている操作の説明にあえてチャレンジしました。なぜ説明を省いてしまっているかという点、自分の拙い英語で説明するより、実際に操作している姿を見せた方が留学生にもわかりやすいだろうと思っているからです。今回研修の中でその説明に初めて挑戦し、ジェスチャーがほとんど使えない状態での口頭説明でとても緊張しました。留学生役の参加者から「なぜその部品に触ってはいけないのか」等の本質的な理解を求めるコメントをいただき、もしかしたら留学生も普段「なぜ、どうし

て」と思っているにもかかわらず感じているのかもしれないと気づくことができました。説明書どおりの操作を何も考えずに実行するだけでは、学生が得るものは少なくなってしまうでしょう。留学生に対してしっかり「なぜ、どうして」を説明し、この人には質問がしやすいなと感じてもらえるように英語力を伸ばしていく必要があります。このことは今回の研修に参加しなければ気づけませんでした。ありがとうございました。

- ・わかりやすい説明を行えるよう心掛けができた
 - ・日本語でもややこしい内容だったのですが、一旦英語にしたことで自分の中でもよく整理できたように思います。
 - ・留学生に対しオペレをするときに、よりイメージしやすい単語を選択して使うことで、理解が深まると思います
 - ・時短になる（英語に変換するときの単語選びに時間がかかっていたところを効率よく伝えられるようになる）
 - ・留学生に装置の説明をするときに役立ちそうだった。特に、ご一緒した清水さんの内容は、普段、自分が業務で使用しているホルダーの取り扱いについてのものであったので、参考になった。
 - ・装置の取扱説明という点で、留学生の学生に対してだけでなく、日本人の学生に対しても、同じように丁寧な説明、相手が理解できているかを知ることが大事だと感じました。
- ウォーミングアップも、留学生との会話に役に立ちそうです。
- ・話す内容は別として、外国人留学生等との対峙テクニックが役立ちそうです。
 - ・今後、英文化が必要であろうことについて、英語でどのように表現できるかを学べたこと。
 - ・学習したことをまずは試してみる勇気をもらいました。
 - ・英語で機器を説明する事前準備の方法が参考になりました。私だけじゃなくて、参加者に専門用語をリストして、一緒に考えることがとてもいいと思います。
 - ・外国人留学生の新規教育訓練が本日あるのですが、積極的に実習スタッフとして参加できそうです。

今回の技術英語研修の感想や、今後の技術英語研修に期待することなど、ご記入ください

- ・英語でマニュアルを作ることもあり、技術英語で使える表現や書く技術などの研修があるとありがたいです。
- ・現在されている活動を今後も継続されることを期待します。そのためにできることがあれば協力させて頂きたいと思います。
- ・今年度の技術英語研修にはいくつか参加させていただきました。研修日が近づくたびに「英語の練習をしなくては」と改めて気を引き締めることができました。また、そのおかげで普段の留学生との会話も無駄に緊張することなく、日本人学生と会話するときと同じような気持ちで臨むことができました。コミュニケーションツールとしての英語に慣れることはできましたが、正確な情報を伝えるための英語を話すにはまだまだたくさん練習する

必要があると感じます。今後も技術英語研修が定期的で開催され、全国の技術職員の英語力が向上することを期待しています。留学生たちに「日本に留学して良かった」と感じてもらえるよう、私も努力を続けたいと思います。今後もよろしくお願い致します。

- ・英語で会話する機会をいただけたらと思います

- ・内容の濃い研修だったと思います。短時間で集中して取り組みました。今回の研修と内容は同じで、時間を長くしてグループ替えを行って同じ説明を2~3回繰り返すのも良いかと思いました。気づきに対してその場で実践することができるかと思っています。自主勉強会なども期待しています。

- ・よく知っている業務でも、知らない業務でも、お互い英語にちゃんと向き合うと理解が進むことがよくわかりました。いろいろな人が参加できる・参加しやすい研修になることを期待します。

- ・講師役が説明するだけでなく生徒役が要約や質問することで、双方に得るものがあった。

- ・とにかく楽しかったです。WGの方は皆さん素敵なお方ばかりで、清水さんと一緒にできるのを楽しみにしていましたが、COOLに英語を話したい、という目標設定がかっこいいと思いました。また、永松さんは同じ大学でありながら、本研修を通じて初めてお話したのですが、前向きな姿勢が印象的でした。今回は、日本語を見ながら話せる気がなくて、英語バージョンを準備し、それを見ながら説明しましたが、そのような予習を行うのが良いのか否か、微妙だと思いました。（その場で即興で話した方が練習として良かったかも？という気がしました。）日程の都合で、前回と同じ形式の研修に参加させていただきましたが、異なる形式の会もあったようですので、機会があれば他の形式の研修にも参加してみたいと思います。今後の技術英語研修では、ライティングやリーディングの研修も取り入れていただきたいです。あと、梅村先生に一度直にお会いしてみたいです。最後に、朝の体調不良（急な腕の痛み。9時過ぎには回復。）のため急遽自宅からの参加となり、カメラなしの参加になってしまい、申し訳ありませんでした。

- ・短い研修を定期的に通ってほしいと思います。

- ・自分の使った英語、英文に対してのフィードバックがあると良いかなと思います。

自己流にしゃべっているのではせっかくの研修がもったいない気がしました。

- ・上級者向けに、可能であれば、英検対策（準一級、一級程度）をやっていただきたい。英検1級、準1級は科学技術に関する分野からの出題も多く、技術英語を学ぶツールとしてもよいと感じるため。これが資格取得にも繋がるということは技術職員の英語力向上の具体的な結果としても出せると考える。また、ある程度のパッセージを聞いて、頭の中で情報処理をする能力を高めるトレーニングもしていただきたい。（例えば海外ニュースのスピードについていけるレベル）

- ・何度か受講したいです。

- ・1時間でちょうどいい頭の運動になりました。また時間が合えば参加したいと思います。

- ・やはり、動画サイトのチャンネルの立ち上げを大いに期待してしまいます。